

雷による被害に遭遇

京都にいた子どものころ、雷は強烈でした。その音は、ゴロゴロではなく、稲妻と同時に、「バシッ！」と。

飼っていた犬も、ドアを開けた途端に飛び込んでくるほど、怖がっていました。

ここ仙台では、そんなにヒドい雷は、今まで経験したことはなかったのですが、近年の異常気象で、さま変わりを。

実は先日、雷雲がモクモクと発達、真っ黒な雲と雷鳴が近づいてきました。「いつもこんなものさ」と、私は、パソコンの会計ソフトで、入力作業をしていたのです。すると突然、隣のパソコンから、バシッという恐ろしい音が。

一瞬、蛍光灯は消えかけ、再び、点灯はしましたが、1つだけ蛍光灯が再点灯しません。電話もFAXも通じなくなり、インターフォンも故障をし、エアコンの室外機も動かなくなりました。

落ち着いてから、点検をしたところ、LANケーブルでつながれている機器、LANハブ、WiFiルーターも、電源が落ちています。LANでつながれている電源の入っていないパソコンも、動かなくなりました。

直接落雷したら、ヒドいときには火事になったりして、以上のような被害ではすまなかったと思われます。

落雷より誘導雷のほうが…

これは、誘導雷という現象で、雷雲は、すごい電圧パワーの固まりです。

この中にすっぽり入れば、電気は、電

店頭から 「こんにちば」

第131回

雷も近年の異常気象でさま変わりをした？
雨だれに手を差し伸べて意識不明

「日本海側は冬が雷の季節」と教えられ、夏と思っていた私は、びっくりしました。晩秋の今だからこそ、怖い雷の話をしておきましょう。実は命にかかわります。



話線や電灯線、インターフォンやLANケーブルにのっかり、アース線をつたって、地面に逃げようとします。

こんな例がありました。薬剤師の先輩が旅行中、雷雨に遭ったのです。

軒下で雨宿りしているとき、何となく軒先から落ちる雨だれに手を差し伸べた瞬間、電撃を受けて意識不明に。救急搬送されて、一命をとりとめました。

雨だれから人体をとおして、地面へと、電気が流れたのです。

山やゴルフ場で雷雨に遭ったら、以上の雷の怖さをぜひ、思い出してください。みなさんに雷の話をする、ほぼ全員、誘導雷という言葉を知りません。そもそも、「雷は落ちない限り、大丈夫なんだ」と誤解しています。

さすがに電話通信会社の方は、よくあることなので、すぐに対処してくれましたが、電気工事屋さんでも、「初めて聞いた、そんなことあるんですかね」と。

実は、落雷より誘導雷の被害のほうが広範囲に発生するので、大変だそうです。

頭の片隅に、誘導雷のことを入れておいてください。いざというとき、あなたの命を救うかもしれませんよ。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ
宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「冬を控え、感染症にはご注意を」

